

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中 報告日 2020年10月30日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	生駒市	代表者名	小紫雅史
担当者部署	地域活力創生部	連絡先電話番号	0743-74-1111
担当者役職	主幹	担当者氏名	掛樋 佐紀子
住所	630-0288 奈良県生駒市東新町8番38号		
連絡先E-mail			

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	下山 紗代子
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	事前相談の段階でこちらの意図をスムーズに汲んで下さった。職員が興味を持ちやすく考えやすい題材や事例を多用していただいたので参加者が意欲的に取り組み、理解度も高かった。BADグラフの問題点/改善方針を考えるセッションでは、多くの職員が積極的に手を挙げており、楽しく学べたようである。次回も期待したい。
アドバイザーへの要望事項	特になし。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2020年10月26日	13時20分	20時00分	60	340
3-2. 派遣場所	会場名	生駒市庁舎内 会議室		最寄駅	生駒駅
	所在地	奈良県生駒市東新町8-38		最寄駅からの交通手段	徒歩
	派遣形態	講演(実地)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】 職員	人数 22人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	データ利活用の必要性の理解、実際進めるためのステップ、データの見せ方等のノウハウやトレンド把握に課題がある。また、職員のExcel等のツールの習熟度にばらつきがあることから、使い方と見せ方を学ぶことで、実務での積極的なデータ利活用につなげたい。	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> データを使うメリットを理解する。 データの正しい見せ方、ツール(Excel)の使い方を習得する 受講者が自組織に教えられるようになる 	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	実務担当者向けに、下記内容につき講義とPCによるエクセル実習を実施いただいた。 ・データを使うメリット、データを可視化するメリットについて(講義) ・いろいろなグラフの作り方、見せ方(エクセルによる実習) ・他事例のグラフから改善点を考える(講義)	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	基礎編ということで、PCに不慣れな人にもわかりやすい講義をしていただいた。ピボットテーブルは使ったことのない人が多かったが、「知れてよかった、もっと詳しく知りたい」という意見が多数あった。研修資料を全庁的に配布したところ、研修に参加していない方からも中身について問い合わせがあるなど職員が興味を持つことにつながった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	今回は基礎編でお願いしていたので、ある程度使える人には知っていた内容が多かったようである。今後、役職ではなくレベルで分けた研修についても検討し、その際はまたお願いしたい。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 前回に続き、理解度、満足度が高かった。エクセルやピボットテーブルを使いこなせるようになると実務に役立ちそうだという感覚をつかんでもらえた。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	データ利活用の必要性を理解し、データ化からデータの正しい見せ方、見方を理解し、データをもとに仮説検証、PDCAを回し、EBPMを自然に実践できる組織にする。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

